



平成16年3月期 第3四半期業績の概況(連結)

平成16年2月5日

上場会社名 **株式会社コーエー**

上場取引所 東京証券取引所(第1部)

コード番号 9654

本社所在都道府県 神奈川県

(URL <http://www.koei.co.jp/html/financial/index.html>)

代表者役職・氏名 代表取締役社長 小松 清志

問合せ先 責任者役職・氏名 執行役員財務部長 長谷川 秀夫

TEL (045) 562 - 8111

1. 四半期連結損益計算書等の作成等に係る事項

財務諸表等の作成に際して準拠した基準 : 中間連結財務諸表作成基準及び中間財務諸表作成基準

・会計処理方法の変更の有無 : 有(たな卸資産廃棄損及びたな卸資産評価損の計上方法の変更)

・会計処理方法の最近連結会計年度における方法との相違の有無 : 有(連結子会社の税金費用は簡便法により計算)

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況(平成15年4月1日~平成15年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(金額は百万円未満切捨て表示)

	売上高		営業利益		経常利益		当期(第3四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期第3四半期	15,013	(4.0)	3,738	(8.3)	4,923	(15.4)	2,793	(33.7)
15年3月期第3四半期	14,431	(4.2)	3,452	(27.6)	4,267	(19.5)	2,089	(33.0)
(参考)15年3月期	26,805		10,714		11,894		6,218	

	1株当たり当期 (第3四半期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期(第3四半期)純利益
	円 銭	円 銭
16年3月期第3四半期	69.60	-
15年3月期第3四半期	51.54	-
(参考)15年3月期	152.29	-

(注) 期中平均株式数 16年3月期第3四半期 40,133,143株 15年3月期第3四半期 40,544,115株
15年3月期 40,540,864株

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同期比増減率
潜在株式調整後1株当たり第3四半期(当期)純利益は、潜在株式がないため記載しておりません

業績の概況(平成15年4月1日~平成15年12月31日)

国内外の経済はまだ模様ながらも、企業収益の改善を中心として、明るい兆しが見え始めております。このような状況下、当社グループは消費者ニーズを的確にとらえたビジネス展開を進め、独創的なエンターテインメント・コンテンツの研究開発・創出に努めてまいりました。このような企業努力により、2004年第1集「会社四季報」(2004年1月15日、東洋経済新報発行)にて営業利益率改善度ランキングで第1位を獲得し、当社のこれまでの業績が高く評価されました。

当第3四半期においては、日本にて56万本の売上を達成したPS2用「真・三國無双3 猛将伝(北米名: Dynasty Warriors 4 Xtreme Legends)」を北米・アジア市場へ投入し好評を博しました。海外売上高比率は前年同期に比較し8.6ポイント増加の27.3%となりました。

また、国内にてミリオンヒットを記録したPS2用「真・三國無双3」が国内外で累計180万本を超えるなど、引き続き当社人気タイトルの販売が好調に推移いたしました。当社主力の歴史シミュレーションタイトルについてもPS2用「三國志」など新作を投入いたしました。

これらの結果、当第3四半期の当社グループの業績は売上高150億13百万円(前年同期比4.0%増)、営業利益37億38百万円(同8.3%増)、経常利益49億23百万円(同15.4%増)と増収増益を達成いたしました。

事業の種類別セグメントの状況は以下の通りとなっております。

ゲームソフト事業 売上高 104 億 53 百万円 営業利益 27 億 98 百万円

国内では、パソコン用に「信長の野望 天下創世」など5タイトルを、家庭用ビデオゲームソフトPS2用に「信長の野望 Online」、「真・三國無双3 猛将伝」、「三國志」など9タイトルを発売しました。「真・三國無双3」に新たな楽しさをプラスした「真・三國無双3 猛将伝」は、国内で56万本を超えるヒット作となりました。同タイトルは海外でも「Dynasty Warriors 4 Xtreme Legends」として北米、アジアに投入され好評を博しました。また、平成15年6月にPS2用「信長の野望 Online」でオンラインゲーム市場に本格参入いたしましたが、パソコン版を平成16年2月4日に発売するなど着実にオンライン市場での基盤を構築しております。携帯用コンテンツにおいてもiモード用に「真・三國無双」、iアプリ用に「Mobile 三國志」を展開し、会員数は前年同期比30%増となるなど順調に増えております。また、雑誌「週刊ファミ通」のクロスレビューにおいて、当社は9割の殿堂入り率（殿堂入り：高く評価されたタイトルに与えられる称号）にて、全ゲームソフトメーカー中ランキング第1位を獲得しました。海外でもPS2用「Romance of the Three Kingdoms（日本名：三國志）」が北米最大手ゲームサイト、IGN.COMの“Editor's Choice 2003 Strategy Game of the Year”に選ばれ、3年連続での同部門受賞となるなど、当社製品の品質はワールドワイドで非常に高い評価を受けております。これらの結果、売上高は前年同期比15.7%増、営業利益は同30.7%増と増収増益を達成しました。

流通事業 売上高 90 億 26 百万円 営業利益 4 億 70 百万円

家庭用ビデオゲーム分野ではPS2用「真・三國無双3 猛将伝」、「三國志」をはじめとしたコアエー商品の販売に加え、グループ外商品の販売が好調となりました。ポータルサイト「GAMECITY」（<http://www.gamecity.ne.jp/>）においては、「信長の野望 Online」のプレイチケット販売や「ネオロマンスフェスタ」等のイベント関連売上も順調に推移し、eビジネスの充実を図りました。

しかしながら、パソコンソフト分野では取扱量が減少したため、売上高は前年同期比で7.8%減としたものの、経費削減等の業務効率化に努めた結果、営業利益では前年同期比39.7%増を達成しました。

メディア事業 売上高 20 億 10 百万円 営業利益 3 億 8 百万円

出版事業では「真・三國無双3 猛将伝 コンプリートガイド」、「Winning Post 6 コンプリートガイド」等のゲームソフト攻略本が好調な販売となりました。女性向けネオロマンス事業では、10、11月に開催したイベント「ネオロマンス ライヴ2003 Autumn」にて約2万人の観客を動員し、12月にはパソコン用ネオロマンスゲーム「アンジェリーク エトワール」を発売するなど、メディアミックスを積極的に推進しております。また、携帯用コンテンツとしてiモード用に「アンジェリーク」、「遙かなる時空の中で」を投入し、順調に会員数を増やしております。

しかしながら、出版事業の今期主要タイトル売上が第4四半期に控えていること、第4四半期以降に発売予定のPS2用「金色のコルダ」などに対する外注加工費が先行発生したことにより、売上高は前年同期比7.8%減、営業利益は同53.4%減となりました。

ベンチャーキャピタル事業 売上高 59 百万円 営業利益 16 百万円

保有上場株式の一部売却により、16百万円の営業利益を計上しました。

その他事業 売上高 1 億 94 百万円 営業利益 77 百万円

ワープロソフト「EGWORD13」と日本語入力ソフト「EGBRIDGE14」はMac OS X “Panther”にもいち早く対応するなど大変高い評価を受けております。また、「EGWORD13」は財団法人日本産業デザイン振興会主催の「2003年度グッドデザイン賞」を受賞するなど、機能、利便性の高さが評価されております。また、ソフト受託開発売上が前年比2倍となるなど高い技術力を活かした事業を展開しました。これらの結果、売上高で前年同期比10.3%増、営業利益で同20.0%増の増収増益を達成しました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第3四半期	48,304	44,200	91.5	1,101.44
15年3月期第3四半期	46,859	41,245	88.0	1,016.00
(参考) 15年3月期	53,054	44,295	83.5	1,102.54

(注) 期末発行済株式数 16年3月期第3四半期 40,129,726株 15年3月期第3四半期 40,595,940株
15年3月期 40,135,116株

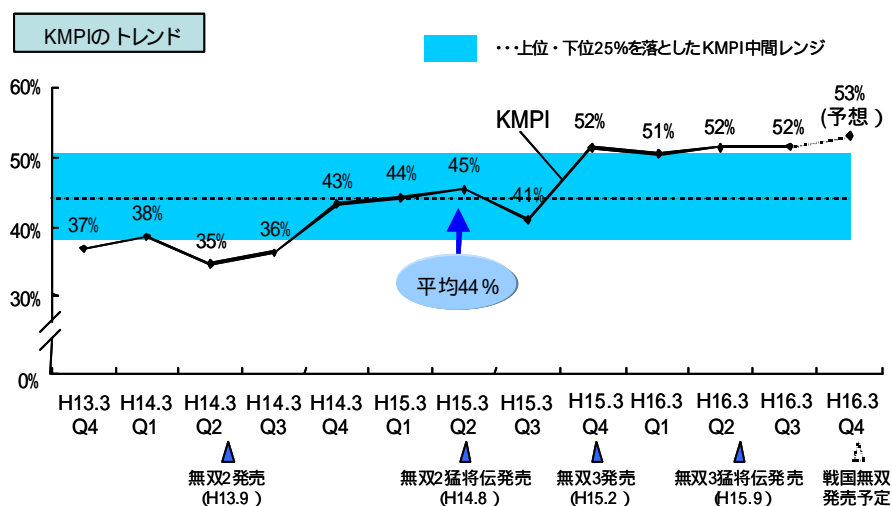
(参考1) 第3四半期個別経営成績等の概況(平成15年4月1日～平成15年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
16年3月期第3四半期	10,335 (4.4)	2,322 (4.6)	3,742 (10.4)	2,285 (26.5)
15年3月期第3四半期	9,901 (12.3)	2,434 (40.3)	3,390 (31.9)	1,807 (41.1)
15年3月期	20,412	8,939	10,252	5,625

	総資産	株主資本
	百万円	百万円
16年3月期第3四半期	45,349	42,154
15年3月期第3四半期	44,248	39,833
15年3月期	49,927	42,577

(3) KMPI の実績

当社独自の経営指標KMPI (Koei Management Performance Index) につきましては、当第3四半期において前年を上回る営業利益を達成した影響もあり、52%という高水準を維持しております。



* KMPIの計算方法

過去12ヶ月ベースの営業利益 ÷ (総資産 - 有価証券*) の期首・期末平均

* 投資有価証券を含む

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	29,300	13,100	7,200	178.30

業績予想について（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

第4四半期には、最新作「戦国無双」等、大型タイトルの発売を予定しております。通期予想につきましては、パソコンソフトの取扱量が減少したため、連結売上高は293億円（前期比9.3%増）を予想しております。利益につきましては、期初より進めてまいりました開発効率の向上、徹底した経費抑制により、連結経常利益131億円（同10.1%増）、連結当期純利益72億円（同15.8%増）を予想しており、5期連続で過去最高の売上・利益を更新する見込みです。

（参考2）平成16年3月期の個別業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり年間予想配当金	
				期 末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭
通 期	21,700	10,900	6,200	25.00	50.00

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報等に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

添付資料

- ・ 四半期連結貸借対照表
- ・ 四半期連結損益計算書
- ・ 四半期連結剰余金計算書
- ・ セグメント情報
- ・ 販売の状況
- ・ 有価証券に関する事項
- ・ デリバティブ取引関係
- ・ 四半期貸借対照表
- ・ 四半期損益計算書
- ・ 有価証券に関する事項
- ・ 部門別売上高

4. 四半期連結財務諸表等
 (1) 四半期連結貸借対照表

期 別 科 目	前 第 3 四 半 期 平成 15 年 3 月 期 (平成14年12月31日現在)		当 第 3 四 半 期 平成 16 年 3 月 期 (平成15年12月31日現在)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 平成 15 年 3 月 期 (平成15年 3 月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
(資 産 の 部)						
流 動 資 産						
現 金 及 び 預 金	3,037		3,403		6,516	
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	3,154		3,105		5,768	
有 価 証 券	5,279		3,448		4,934	
た な 卸 資 産	587		581		684	
繰 延 税 金 資 産	937		957		1,379	
そ の 他	516		726		805	
貸 倒 引 当 金	49		71		53	
流 動 資 産 合 計	13,464	28.7	12,150	25.2	20,034	37.8
固 定 資 産						
有 形 固 定 資 産						
建 物 及 び 構 築 物	3,994		3,819		3,986	
土 地	3,349		3,447		3,349	
そ の 他	549		603		469	
有 形 固 定 資 産 合 計	7,893		7,870		7,805	
無 形 固 定 資 産	304		232		302	
投 資 そ の 他 の 資 産						
投 資 有 価 証 券	23,101		25,933		23,046	
更 生 債 権	23		65		24	
繰 延 税 金 資 産	350		416		179	
再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 資 産	1,341		1,298		1,298	
そ の 他	398		403		387	
貸 倒 引 当 金	18		65		24	
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	25,197		28,051		24,911	
固 定 資 産 合 計	33,394	71.3	36,153	74.8	33,019	62.2
資 産 合 計	46,859	100.0	48,304	100.0	53,054	100.0

期 別 科 目	前 第 3 四 半 期 平成 15 年 3 月 期 (平成14年12月31日現在)		当 第 3 四 半 期 平成 16 年 3 月 期 (平成15年12月31日現在)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 平成 15 年 3 月 期 (平成15年3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
(負 債 の 部)						
流 動 負 債						
支払手形及び買掛金	520		464		789	
未 払 金	668		718		1,376	
未 払 法 人 税 等	244		429		3,928	
未 払 消 費 税 等	95		78		323	
賞 与 引 当 金	357		322		539	
返 品 調 整 引 当 金	138		183		206	
そ の 他	598		662		422	
流 動 負 債 合 計	2,623	5.6	2,859	5.9	7,585	14.3
固 定 負 債						
長 期 借 入 金	10		10		10	
繰 延 税 金 負 債	285		125		93	
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	297		323		306	
退 職 給 付 引 当 金	178		226		183	
預 り 保 証 金	1,825		123		125	
そ の 他	50		27		40	
固 定 負 債 合 計	2,647	5.7	837	1.8	760	1.4
負 債 合 計	5,270	11.3	3,696	7.7	8,345	15.7
(少 数 株 主 持 分)						
少 数 株 主 持 分	343	0.7	407	0.8	413	0.8
(資 本 の 部)						
資 本 金	9,090	19.4	9,090	18.8	9,090	17.1
資 本 剰 余 金	12,506	26.7	12,506	25.9	12,506	23.6
利 益 剰 余 金	21,406	45.7	25,876	53.6	25,535	48.1
土 地 再 評 価 差 額 金	1,852	4.0	1,896	3.9	1,896	3.6
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	249	0.5	23	0.1	284	0.6
為 替 換 算 調 整 勘 定	69	0.1	172	0.4	63	0.1
自 己 株 式	85	0.2	1,180	2.4	1,162	2.2
資 本 合 計	41,245	88.0	44,200	91.5	44,295	83.5
負 債、少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	46,859	100.0	48,304	100.0	53,054	100.0

(2)四半期連結損益計算書

期 別 科 目	前 第 3 四 半 期 〔自平成14年4月1日〕 〔至平成14年12月31日〕		当 第 3 四 半 期 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成15年12月31日〕		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 〔自平成14年4月1日〕 〔至平成15年3月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売 上 高	14,431	100.0	15,013	100.0	26,805	100.0
売 上 原 価	7,815	54.2	7,893	52.6	11,500	42.9
売 上 総 利 益	6,615	45.8	7,120	47.4	15,305	57.1
販売費及び一般管理費	3,163	21.9	3,381	22.5	4,590	17.1
営 業 利 益	3,452	23.9	3,738	24.9	10,714	40.0
営 業 外 収 益	1,114	7.7	1,735	11.6	1,586	5.9
受 取 利 息	635		816		860	
投資有価証券売却益	23		618		23	
為 替 差 益	-		-		-	
デリバティブ利益	260		-		457	
賃 借 料 収 入	88		93		122	
そ の 他	106		207		122	
営 業 外 費 用	298	2.0	550	3.7	405	1.5
支 払 利 息	5		-		5	
たな卸資産廃棄損	70		-		137	
たな卸資産評価損	51		-		61	
為 替 差 損	88		119		85	
デリバティブ損失	-		328		-	
賃 借 料 原 価	43		44		62	
そ の 他	40		57		53	
経 常 利 益	4,267	29.6	4,923	32.8	11,894	44.4
特 別 利 益	-	-	-	-	-	-
特 別 損 失	539	3.8	33	0.2	565	2.1
税金等調整前第3四半期(当期)純利益	3,728	25.8	4,889	32.6	11,328	42.3
法人税、住民税及び事業税	1,381	9.6	1,645	11.0	5,254	19.6
法 人 税 等 調 整 額	233	1.6	409	2.7	241	0.9
少 数 株 主 利 益	24	0.1	41	0.3	97	0.4
第3四半期(当期)純利益	2,089	14.5	2,793	18.6	6,218	23.2

(3)四半期連結剰余金計算書

期 別 科 目	前 第 3 四 半 期 〔自平成14年4月1日〕 〔至平成14年12月31日〕		当 第 3 四 半 期 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成15年12月31日〕		前連結会計年度の 連結剰余金計算書 〔自平成14年4月1日〕 〔至平成15年3月31日〕	
	金 額		金 額		金 額	
		百万円		百万円		百万円
(資本剰余金の部)						
資本剰余金期首残高		12,482		12,506		12,482
資本剰余金増加高						
増資による新株の発行	23		-		23	
自己株式処分差益	0	23	-	-	0	23
資本剰余金第3四半期(当期)末残高		12,506		12,506		12,506
(利益剰余金の部)						
利益剰余金期首残高		20,651		25,535		20,651
利益剰余金増加高						
第3四半期(当期)純利益	2,089	2,089	2,793	2,793	6,218	6,218
利益剰余金減少高						
配当金	1,283		2,408		1,283	
役員賞与	51		44		51	
その他	-	1,334	0	2,453	-	1,334
利益剰余金第3四半期(当期)末残高		21,406		25,876		25,535

台湾光栄綜合資訊股分有限公司の利益処分による配当決議に伴う従業員賞与であります。

5. 四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(1) 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 7社
非連結子会社の数 8社

非連結子会社は、いずれも小規模であり、総資産、売上高、第3四半期純損益及び利益剰余金（持分に見合う額）等はいずれも四半期連結財務諸表に重要な影響を及ぼしておりません。

(2) 持分法の適用に関する事項

非連結子会社(株)コーエーミュージック他7社については第3四半期連結純損益及び利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としてもその重要性がないため、持分法を適用しておりません。

(3) 連結子会社の事業年度に関する事項

連結子会社のうち、KOEI KOREA CORPORATION 及び台湾光栄綜合資訊股分有限公司の第3四半期決算日は9月30日であります。

四半期連結財務諸表の作成に当たっては、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

(4) 会計処理基準に関する事項

重要な資産の評価基準及び評価方法

A. 有価証券

売買目的有価証券.....時価法（売却原価は移動平均法により算定）
その他有価証券
時価のあるもの.....第3四半期末日の市場価格等に基づく時価法
（評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）
時価のないもの.....移動平均法による原価法又は償却原価法（定額法）

B. たな卸資産

製品・商品及び原材料
当社及び国内連結子会社3社.....主として移動平均法による原価法
在外連結子会社.....主として移動平均法による低価法
仕掛品.....個別法による原価法
貯蔵品.....最終仕入原価法

重要な減価償却資産の減価償却方法

A. 有形固定資産

当社及び国内連結子会社3社.....定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（付属設備を除く）は定額法によっております。）
在外連結子会社.....主として経済的見積耐用年数による定額法。なお、主な耐用年数は次のとおりであります。
建物及び構築物 10～50年

B. 無形固定資産

市場販売目的のソフトウェア.....見込販売収益に基づく償却方法
自社利用ソフトウェア.....社内における利用可能期間（5年以内）に基づく定額法
その他の無形固定資産.....定額法

重要な引当金の計上基準

- A. 貸倒引当金 債権の貸倒による損失に備えるため、以下の方法に基づき計上しております。
 - a. 一般債権 貸倒実績率法
 - b. 貸倒懸念債権及び破産更生債権等 財務内容評価法
- B. 賞与引当金 従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき当第3四半期対応分の金額を計上しております。
- C. 役員退職慰労引当金 当社及び国内連結子会社では役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労金支給内規に基づく当第3四半期連結会計期間末要支給額の全額を計上しております。
- D. 退職給付引当金 当社及び国内連結子会社において、従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当第3四半期連結会計期間末に発生していると認められる額を計上しております。
数理計算上の差異は、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定年数（14年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌連結会計年度から費用処理することとしております。
- E. 返品調整引当金 当社及び連結子会社では製品（書籍等）の将来予想される売上返品による損失に備えるため、過去の返品実績率を基準とする返品見込額の売上総利益相当額を計上しております。

重要なリース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

その他四半期連結財務諸表作成のための重要な事項

- A. 消費税等の会計処理方法 税抜方式によっております。
- B. 利益処分方式による諸準備金に係る処理 第3四半期連結会計期間に係る納付税額及び法人税等調整額は、当期において予定している利益処分による諸準備金の積立及び取崩しを前提として、当第3四半期連結会計期間に係る金額を計算しております。

6. 会計方針の変更

従来、流通事業及びベンチャーキャピタル事業を除く各社におきましては、たな卸資産廃棄損及びたな卸資産評価損を営業外費用に計上しておりましたが、最近の出版等のタイトル数の増加及び海外市場の拡大に対応した採算管理の必要性から、組織及び管理方法の見直しを行った結果、たな卸資産廃棄損及びたな卸資産評価損は毎期経常的に発生している傾向があること及びタイトル別原価管理をより適切に実施するために、当連結会計期間より売上原価に含めて計上する方法に変更することといたしました。

この変更により、従来の方法によった場合に比較して、当第3四半期の売上原価は193百万円増加し、売上総利益及び営業利益は同額減少しておりますが、経常利益及び税引前第3四半期純利益に与える影響はありません。

7. 表示方法の変更

営業外費用の「支払利息」は金額的に僅少であるため、営業外費用の「その他」に含めて表示しております。

8. 注記事項

(1) 四半期連結貸借対照表関係注記

有形固定資産の減価償却累計額

(平成15年3月期)	(平成16年3月期)	(平成15年3月期)
(平成14年12月31日現在)	(平成15年12月31日現在)	(平成15年3月31日現在)
3,653百万円	3,981百万円	3,733百万円

(2) 四半期連結損益計算書関係注記

一般管理費に含まれる研究開発費

(平成15年3月期)	(平成16年3月期)	(平成15年3月期)
〔自平成14年4月1日〕	〔自平成15年4月1日〕	〔自平成14年4月1日〕
〔至平成14年12月31日〕	〔至平成15年12月31日〕	〔至平成15年3月31日〕
364百万円	471百万円	562百万円

特別利益及び特別損失の内容

- A. 平成15年3月期(前第3四半期)の特別損失539百万円は、投資有価証券評価損であります。
- B. 平成16年3月期(当第3四半期)の特別損失33百万円は、投資有価証券評価損であります。
- C. 平成15年3月期(前連結会計年度)の特別損失565百万円は、投資有価証券評価損であります。

(3) 1株当たり情報

	(平成15年3月期)	(平成16年3月期)	(平成15年3月期)
	〔自平成14年4月1日〕	〔自平成15年4月1日〕	〔自平成14年4月1日〕
	〔至平成14年12月31日〕	〔至平成15年12月31日〕	〔至平成15年3月31日〕
1株当たり純資産額	1,016円00銭	1,101円44銭	1,102円54銭
1株当たり第3四半期(当期)純利益金額	51円54銭	69円60銭	152円29銭
潜在株式調整後1株当たり第3四半期(当期)純利益金額	-円-銭	-円-銭	-円-銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり第3四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり第3四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり第3四半期(当期)純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	(平成15年3月期)	(平成16年3月期)	(平成15年3月期)
	〔自平成14年4月1日〕	〔自平成15年4月1日〕	〔自平成14年4月1日〕
	〔至平成14年12月31日〕	〔至平成15年12月31日〕	〔至平成15年3月31日〕
1株当たり第3四半期(当期)純利益金額			
第3四半期(当期)純利益(百万円)	2,089	2,793	6,218
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	0	44
(うち利益処分による役員賞与金)	(-)	(-)	(44)
普通株式に係る第3四半期(当期)純利益(百万円)	2,089	2,793	6,174
期中平均株式数(千株)	40,544	40,133	40,540
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり第3四半期(当期)純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権1種類(新株予約権の数2,040個、新株予約権の目的となる株式の数204,000株)	新株予約権1種類(新株予約権の数1,985個、新株予約権の目的となる株式の数198,500株)	新株予約権1種類(新株予約権の数2,040個、新株予約権の目的となる株式の数204,000株)

8. セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期(自平成14年4月1日 至平成14年12月31日)

(単位:百万円)

セグメント 科目	ゲームソフト 事業	流通 事業	メディア 事業	ベンチャー キャピタル 事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	2,689	9,781	1,794	71	94	14,431	(-)	14,431
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,349	12	386	-	81	6,830	(6,830)	-
計	9,038	9,793	2,181	71	176	21,262	(6,830)	14,431
営業費用	6,868	9,456	1,428	12	112	17,878	(6,899)	10,979
営業利益又は営業損失()	2,169	336	753	58	64	3,383	68	3,452

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業区分に属する主要な製品の名称及び事業内容は以下のとおりであります。

(1)ゲームソフト事業.....パソコン用ゲームソフト及び家庭用ビデオゲームソフト等の開発、販売

(2)流通事業.....パソコン用ソフト及び家庭用ビデオゲームソフト等の流通、卸業務

(3)メディア事業.....パソコン用ソフト、家庭用ビデオゲームソフト、書籍、CD等の制作、販売

(4)ベンチャーキャピタル事業.....ベンチャーキャピタル業務(ベンチャーキャピタル事業の売上高には、投資育成目的の投資有価証券等の売上高及び受取配当金を計上し、同売上原価には、売却有価証券帳簿価額、投資事業組合への投資損失等を計上しております。)

(5)その他事業.....パソコン用ワープロソフト、ビジネスソフト等の開発、販売及び広告代理業務等

当第3四半期(自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)

(単位:百万円)

セグメント 科目	ゲームソフト 事業	流通 事業	メディア 事業	ベンチャー キャピタル 事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	4,257	8,994	1,556	59	144	15,013	(-)	15,013
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,196	31	453	-	50	6,732	(6,732)	-
計	10,453	9,026	2,010	59	194	21,745	(6,732)	15,013
営業費用	7,654	8,556	1,702	43	117	18,074	(6,799)	11,275
営業利益又は営業損失()	2,798	470	308	16	77	3,670	67	3,738

(会計方針の変更)

従来、流通事業及びベンチャーキャピタル事業を除く各社におきましては、たな卸資産廃棄損及びたな卸資産評価損は営業外費用に計上しておりましたが、最近の出版等のタイトル数の増加及び海外市場の拡大に対応した採算管理の必要性から、組織及び管理方法の見直しを行った結果、たな卸資産廃棄損及びたな卸資産評価損は毎期経常的に発生している傾向があること及びタイトル別原価管理をより適切に実施するために、当事業年度より売上原価に含めて計上する方法に変更することといたしました。

なお、前第3四半期及び前連結会計年度において変更後の会計方針によった場合の事業の種類別セグメント情報は次のとおりであります。

前第3四半期(自平成14年4月1日 至平成14年12月31日)

(単位:百万円)

セグメント 科目	ゲーム 事業	流通 事業	メディア 事業	ベンチャー キャピタル 事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	2,689	9,781	1,794	71	94	14,431	(-)	14,431
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,349	12	386	-	81	6,830	(6,830)	-
計	9,038	9,793	2,181	71	176	21,262	(6,830)	14,431
営業費用	6,896	9,456	1,521	12	112	17,999	(6,899)	11,100
営業利益又は営業損失()	2,141	336	660	58	64	3,262	68	3,331

前連結会計年度(自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)

(単位:百万円)

セグメント 科目	ゲーム 事業	流通 事業	メディア 事業	ベンチャー キャピタル 事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	5,418	18,260	2,882	94	149	26,805	(-)	26,805
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,643	14	524	-	135	14,318	(14,318)	-
計	19,062	18,275	3,406	94	284	41,123	(14,318)	26,805
営業費用	10,894	17,256	2,358	18	187	30,715	(14,426)	16,288
営業利益又は営業損失()	8,167	1,019	1,048	75	97	10,408	108	10,516

前連結会計年度(自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)

(単位:百万円)

セグメント 科目	ゲーム 事業	流通 事業	メディア 事業	ベンチャー キャピタル 事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	5,418	18,260	2,882	94	149	26,805	(-)	26,805
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,643	14	524	-	135	14,318	(14,318)	-
計	19,062	18,275	3,406	94	284	41,123	(14,318)	26,805
営業費用	10,851	17,256	2,205	18	185	30,517	(14,426)	16,091
営業利益又は営業損失()	8,210	1,019	1,201	75	98	10,605	108	10,714

(2)所在地別セグメント情報

前第3四半期(自平成14年4月1日 至平成14年12月31日)

(単位:百万円)

科目 \ セグメント	日本	北米	アジア	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	12,377	1,621	432	14,431	(-)	14,431
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	786	-	2	789	(789)	-
計	13,164	1,621	434	15,220	(789)	14,431
営業費用	10,077	1,335	356	11,769	(790)	10,979
営業利益又は営業損失()	3,087	285	78	3,450	1	3,452

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米: 米国

(2) アジア: 韓国、台湾

当第3四半期(自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)

(単位:百万円)

科目 \ セグメント	日本	北米	欧州	アジア	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	11,464	2,273	443	831	15,013	(-)	15,013
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,446	-	-	0	1,446	(1,446)	-
計	12,910	2,273	443	831	16,459	(1,446)	15,013
営業費用	9,869	1,908	411	532	12,721	(1,446)	11,275
営業利益又は営業損失()	3,040	365	32	299	3,738	0	3,738

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米: 米国

(2) 欧州: イギリス

(3) アジア: 韓国、台湾

(会計方針の変更)

従来、流通事業及びベンチャーキャピタル事業を除く各社におきましては、たな卸資産廃棄損及びたな卸資産評価損は営業外費用に計上しておりましたが、最近の出版等のタイトル数の増加及び海外市場の拡大に対応した採算管理の必要性から、組織及び管理方法の見直しを行った結果、たな卸資産廃棄損及びたな卸資産評価損は毎期経常的に発生している傾向があること及びタイトル別原価管理をより適切に実施するために、当事業年度より売上原価に含めて計上する方法に変更することといたしました。

なお、前第3四半期及び前連結会計年度において変更後の会計方針によった場合の所在地別セグメント情報は次のとおりであります。

前第3四半期(自平成14年4月1日 至平成14年12月31日)

(単位:百万円)

科目 \ セグメント	日本	北米	アジア	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	12,377	1,621	432	14,431	(-)	14,431
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	786	-	2	789	(789)	-
計	13,164	1,621	434	15,220	(789)	14,431
営業費用	10,196	1,335	358	11,890	(790)	11,100
営業利益又は営業損失()	2,967	285	76	3,329	1	3,331

前連結会計年度(自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)

(単位:百万円)

科目 \ セグメント	日本	北米	欧州	アジア	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	23,353	2,753	94	603	26,805	(-)	26,805
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,493	-	-	2	1,496	(1,496)	-
計	24,847	2,753	94	606	28,301	(1,496)	26,805
営業費用	14,833	2,272	92	587	17,786	(1,497)	16,288
営業利益又は営業損失()	10,014	480	1	18	10,515	1	10,516

前連結会計年度(自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)

(単位:百万円)

科目 \ セグメント	日本	北米	欧州	アジア	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	23,353	2,753	94	603	26,805	(-)	26,805
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,493	-	-	2	1,496	(1,496)	-
計	24,847	2,753	94	606	28,301	(1,496)	26,805
営業費用	14,639	2,272	92	584	17,589	(1,497)	16,091
営業利益又は営業損失()	10,208	480	1	21	10,712	1	10,714

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米 : 米国
- (2) 欧州 : イギリス
- (3) アジア : 韓国、台湾

(3)海外売上高

前第3四半期(自平成14年4月1日 至平成14年12月31日)

(単位:百万円)

	北 米	欧 州	アジア・中東	合 計
海外売上高	1,622	564	507	2,694
連結売上高	-	-	-	14,431
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.3	3.9	3.5	18.7

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米: 米国

(2) 欧州: イギリス、フランス、ドイツ

(3) アジア・中東: 韓国、台湾、オーストラリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期(自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)

(単位:百万円)

	北 米	欧 州	アジア・中東	合 計
海外売上高	2,273	878	951	4,103
連結売上高	-	-	-	15,013
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	15.1	5.9	6.3	27.3

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米: 米国

(2) 欧州: イギリス、フランス、ドイツ

(3) アジア・中東: 韓国、台湾、オーストラリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

前連結会計年度(自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)

(単位:百万円)

	北 米	欧 州	アジア・中東	合 計
海外売上高	3,759	901	717	5,378
連結売上高	-	-	-	26,805
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14.0	3.4	2.7	20.1

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米: 米国

(2) 欧州: イギリス、フランス、ドイツ

(3) アジア・中東: 韓国、台湾、オーストラリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

9. 販売の状況

前第3四半期(自平成14年4月1日 至平成14年12月31日)

(単位:百万円)

セグメント 科目	ゲームソフト 事業	流通 事業	メディア 事業	ハンチャー キャピタル 事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
外部顧客に対する売上高	2,689	9,781	1,794	71	94	14,431	-	14,431
パソコンソフト	370	2,934	-	-	36	3,341	-	3,341
家庭用ビジュアルゲームソフト	2,150	6,465	38	-	0	8,654	-	8,654
ハンチャーキャピタル	-	-	-	71	-	71	-	71
出版	-	34	1,316	-	-	1,350	-	1,350
CD等	-	88	267	-	-	355	-	355
ロイヤリティ	29	-	31	-	17	79	-	79
その他	138	257	140	-	40	577	-	577
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,349	12	386	-	81	6,830	6,830	-
パソコンソフト	1,623	-	15	-	65	1,704	1,704	-
家庭用ビジュアルゲームソフト	4,679	-	115	-	5	4,799	4,799	-
ハンチャーキャピタル	-	-	-	-	-	-	-	-
出版	-	-	23	-	-	23	23	-
CD等	-	-	61	-	-	61	61	-
ロイヤリティ	45	-	2	-	0	48	48	-
その他	0	12	168	-	11	192	192	-
合計	9,038	9,793	2,181	71	176	21,262	6,830	14,431

当第3四半期(自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)

(単位:百万円)

セグメント 科目	ゲームソフト 事業	流通 事業	メディア 事業	ハンチャー キャピタル 事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
外部顧客に対する売上高	4,257	8,994	1,556	59	144	15,013	-	15,013
パソコンソフト	184	1,919	-	-	52	2,156	-	2,156
家庭用ビジュアルゲームソフト	3,823	6,558	0	-	0	10,382	-	10,382
ハンチャーキャピタル	-	-	-	59	-	59	-	59
出版	35	31	1,235	-	-	1,302	-	1,302
CD等	-	58	221	-	-	279	-	279
ロイヤリティ	9	-	17	-	6	33	-	33
その他	204	427	81	-	85	798	-	798
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,196	31	453	-	50	6,732	6,732	-
パソコンソフト	980	-	128	-	46	1,156	1,156	-
家庭用ビジュアルゲームソフト	4,954	-	117	-	1	5,073	5,073	-
ハンチャーキャピタル	-	-	-	-	-	-	-	-
出版	-	-	21	-	-	21	21	-
CD等	-	-	42	-	-	42	42	-
ロイヤリティ	45	-	9	-	0	54	54	-
その他	214	31	134	-	1	383	383	-
合計	10,453	9,026	2,010	59	194	21,745	6,732	15,013

前連結会計年度(自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)

(単位:百万円)

セグメント 科目	ゲームソフト	流通	メディア	ハンチャー キャピタル	その他	計	消去 又は全社	連結
	事業	事業	事業	事業	事業			
外部顧客に対する売上高	5,418	18,260	2,882	94	149	26,805	-	26,805
パソコンソフト	450	3,973	-	-	77	4,501	-	4,501
家庭用ビデオゲームソフト	4,748	13,740	39	-	0	18,528	-	18,528
ハンチャーキャピタル	-	-	-	94	-	94	-	94
出版	5	54	2,176	-	-	2,236	-	2,236
C D 等	-	145	456	-	-	601	-	601
ロイヤリティ	17	0	42	-	20	80	-	80
その他	197	347	167	-	50	762	-	762
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,643	14	524	-	135	14,318	14,318	-
パソコンソフト	2,423	-	17	-	116	2,557	2,557	-
家庭用ビデオゲームソフト	11,134	-	124	-	5	11,264	11,264	-
ハンチャーキャピタル	-	-	-	-	-	-	-	-
出版	-	-	37	-	-	37	37	-
C D 等	-	-	104	-	-	104	104	-
ロイヤリティ	80	-	15	-	0	96	96	-
その他	4	14	225	-	12	257	257	-
合計	19,062	18,275	3,406	94	284	41,123	14,318	26,805

10. 有価証券に関する事項

前第3四半期(平成14年12月31日現在)

1. その他有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

区分	前第3四半期(平成14年12月31日現在)		
	取得原価	連結貸借対照表計上額	差額
株式	1,229	1,399	170
債券	18,673	19,052	379
その他	3,794	3,712	81
合計	23,696	24,164	467

(注) 1. 債券の中にはパワートリアル・カッパ・債(契約額1,200百万円)が含まれており、その組込デリバティブ利益45百万円は、デリバティブ利益として営業外収益に計上しております。

2. 当第3四半期において、その他有価証券で時価のある株式について438百万円減損処理を行っております。

2. 時価評価されていない主な有価証券の内容及び連結貸借対照表計上額

(単位:百万円)

区分	前第3四半期(平成14年12月31日現在)	
	連結貸借対照表計上額	
その他有価証券		
非上場株式(店頭売買株式を除く)	338	
その他	100	
計	438	

当第3四半期(平成15年12月31日現在)

1. その他有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

区 分	当 第 3 四 半 期 (平成 15 年 12 月 31 日現在)		
	取 得 原 価	連 結 貸 借 対 照 表 計 上 額	差 額
株 式	1,613	1,962	348
債 券	25,647	25,119	527
そ の 他	994	1,101	107
合 計	28,255	28,184	71

(注) 当第3四半期において、その他有価証券で時価のある株式について16百万円減損処理を行っております。

2. 時価評価されていない主な有価証券の内容及び連結貸借対照表計上額

(単位:百万円)

区 分	当第3四半期(平成15年12月31日現在)	
	連 結 貸 借 対 照 表 計 上 額	
その他有価証券		
非上場株式(店頭売買株式を除く)	286	
その他	100	
計	386	

前連結会計年度(平成15年3月31日現在)

1. その他有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

区 分	前 連 結 会 計 年 度 (平成 15 年 3 月 31 日現在)		
	取 得 原 価	連 結 貸 借 対 照 表 計 上 額	差 額
株 式	1,235	1,258	22
債 券	20,722	21,475	753
そ の 他	3,792	3,658	134
合 計	25,750	26,391	641

(注) 1. 債券の中にはワー・デュアル・カンソー債(契約額1,200百万円)が含まれており、その組込デリバティブ利益175百万円は、前期末のデリバティブ損失26百万円と洗替えの上、デリバティブ利益として営業外収益に計上しております。

2. 当連結会計年度において、その他有価証券で時価のあるものについて431百万円減損処理を行っております。

2. 時価評価されていない主な有価証券の内容及び連結貸借対照表計上額

(単位:百万円)

区 分	前連結会計年度(平成15年3月31日現在)	
	連 結 貸 借 対 照 表 計 上 額	
その他有価証券		
非上場株式(店頭売買株式を除く)	304	
その他	100	
計	404	

(株)コーエー 9654

11. デリバティブ取引関係

取引の時価等に関する事項

前第3四半期（平成14年12月31日現在）

複合金融商品の組込デリバティブの契約額等および評価損益は、「10. 有価証券に関する事項 1. その他有価証券で時価のあるもの」の注書きにて開示しております。その他のデリバティブ取引については、当第3四半期末において取引残高はありません。

当第3四半期（平成15年12月31日現在）

該当事項はありません。

前連結会計年度（平成15年3月31日現在）

複合金融商品の組込デリバティブの契約額等および評価損益は、「10. 有価証券に関する事項 1. その他有価証券で時価のあるもの」の注書きにて開示しております。その他のデリバティブ取引については、当連結会計年度末において取引残高はありません。

12. 四半期貸借対照表及び損益計算書並びに注記事項

(1) 比較貸借対照表

期 別 科 目	前 第 3 四 半 期 平成 15 年 3 月 期 (平成14年12月31日現在)		当 第 3 四 半 期 平成 16 年 3 月 期 (平成15年12月31日現在)		前事業年度の要約貸借対照表 平成 15 年 3 月 期 (平成15年 3 月 31 日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
(資産の部)						
流動資産						
現金及び預金	1,116		1,196		5,165	
売掛金	3,172		3,161		5,579	
有価証券	4,869		3,412		4,523	
たな卸資産	386		381		415	
関係会社短期貸付金	119		10		120	
繰延税金資産	355		335		676	
その他	555		722		799	
貸倒引当金	6		7		10	
流動資産合計	10,568	23.9	9,213	20.3	17,270	34.6
固定資産						
有形固定資産						
建物	3,867		3,705		3,863	
土地	3,346		3,444		3,346	
その他	604		664		532	
有形固定資産合計	7,818	17.7	7,814	17.2	7,742	15.5
無形固定資産	276	0.6	231	0.5	254	0.5
投資その他の資産						
投資有価証券	20,999		23,351		20,141	
関係会社株式	2,670		2,670		2,670	
繰延税金資産	277		455		255	
再評価に係る繰延税金資産	1,341		1,298		1,298	
その他	295		313		293	
投資その他の資産合計	25,584	57.8	28,089	62.0	24,659	49.4
固定資産合計	33,679	76.1	36,136	79.7	32,656	65.4
資産合計	44,248	100.0	45,349	100.0	49,927	100.0

期 別 科 目	前 第 3 四 半 期 平成 15 年 3 月 期 (平成14年12月31日現在)		当 第 3 四 半 期 平成 16 年 3 月 期 (平成15年12月31日現在)		前事業年度の要約貸借対照表 平成 15 年 3 月 期 (平成15年 3 月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
(負債の部)						
流動負債						
買掛金	254		271		499	
未払法人税等	151		278		3,528	
賞与引当金	330		304		502	
返品調整引当金	138		183		197	
その他	1,089		1,196		1,872	
流動負債合計	1,963	4.4	2,234	4.9	6,599	13.2
固定負債						
関係会社長期借入金	310		460		310	
役員退職慰労引当金	271		297		277	
退職給付引当金	119		174		121	
預り保証金	1,700		-		-	
その他	50		27		40	
固定負債合計	2,451	5.6	960	2.1	750	1.5
負債合計	4,414	10.0	3,194	7.0	7,349	14.7
(資本の部)						
資本金	9,090	20.5	9,090	20.1	9,090	18.2
資本剰余金						
資本準備金	12,505		12,505		12,505	
その他資本剰余金	0		0		0	
資本剰余金合計	12,506	28.3	12,506	27.6	12,506	25.1
利益剰余金						
利益準備金	749		749		749	
任意積立金	382		363		382	
第3四半期(当期)未処分利益	18,827		22,505		22,646	
利益剰余金合計	19,959	45.1	23,618	52.1	23,777	47.6
土地再評価差額金	1,852	4.2	1,896	4.2	1,896	3.8
その他有価証券評価差額金	215	0.5	15	0.0	261	0.5
自己株式	85	0.2	1,180	2.6	1,162	2.3
資本合計	39,833	90.0	42,154	93.0	42,577	85.3
負債・資本合計	44,248	100.0	45,349	100.0	49,927	100.0

(2)比較損益計算書

期 別 科 目	前 第 3 四 半 期 〔自平成14年4月1日〕 〔至平成14年12月31日〕		当 第 3 四 半 期 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成15年12月31日〕		前事業年度の要約損益計算書 〔自平成14年4月1日〕 〔至平成15年3月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売 上 高	9,901	100.0	10,335	100.0	20,412	100.0
売 上 原 価	5,460	55.1	5,862	56.7	8,409	41.2
売 上 総 利 益	4,441	44.9	4,473	43.3	12,003	58.8
返品調整引当金戻入額	54	0.5	-	-	-	-
返品調整引当金繰入額	-	-	14	0.1	4	0.0
差引売上総利益	4,495	45.4	4,487	43.4	11,998	58.8
販売費及び一般管理費	2,061	20.8	2,164	20.9	3,058	15.0
営 業 利 益	2,434	24.6	2,322	22.5	8,939	43.8
営 業 外 収 益	1,276	12.9	1,923	18.6	1,735	8.5
営 業 外 費 用	319	3.3	503	4.9	421	2.1
経 常 利 益	3,390	34.2	3,742	36.2	10,252	50.2
特 別 利 益	-	-	-	-	-	-
特 別 損 失	413	4.1	-	-	312	1.5
税引前第3四半期(当期)純利益	2,976	30.1	3,742	36.2	9,940	48.7
法人税、住民税及び事業税	889		1,149		4,356	
法人税等調整額	280		308		42	
第3四半期(当期)純利益	1,807	18.3	2,285	22.1	5,625	27.6
前期繰越利益	17,628		21,223		17,628	
中間配当額	608		1,003		608	
第3四半期(当期)未処分利益	18,827		22,505		22,646	

5. その他四半期財務諸表作成のための重要な事項

(1)消費税等の会計処理及び表示 …… 税抜方式によっております。
 なお、仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、流動負債の「その他」に含めて表示しております。

(2)利益処分方式による諸準備金に係る処理

第3四半期に係る納付税額及び法人税等調整額は、当期において予定している利益処分による諸準備金の積立及び取崩しを前提として、当第3四半期に係る金額を計算しております。

6. 会計方針の変更

従来、たな卸資産廃棄損及びたな卸資産評価損を営業外費用に計上しておりましたが、最近の出版等のタイトル数の増加及び海外市場の拡大に対応した採算管理の必要性から、組織及び管理方法の見直しを行った結果、たな卸資産廃棄損及びたな卸資産評価損は毎期経常的に発生している傾向があること及びタイトル別原価管理をより適切に実施するために、当事業年度より売上原価に含めて計上する方法に変更することといたしました。

この変更により、従来の方法によった場合に比較して、売上原価は183百万円増加し、売上総利益及び営業利益は同額減少しておりますが、経常利益及び税引前第3四半期純利益に与える影響はありません。

注記事項

1. 四半期貸借対照表関係注記

(1)有形固定資産の減価償却累計額

	(平成15年3月期) (平成14年12月31日現在)	(平成16年3月期) (平成15年12月31日現在)	(平成15年3月期) (平成15年3月31日現在)
	3,555 百万円	3,886 百万円	3,630 百万円

2. 四半期損益計算書関係注記

(1)特別利益及び特別損失の内容

平成15年3月期(前第3四半期)の特別損失413百万円は、投資有価証券評価損であります。

平成15年3月期(前事業年度)の特別損失312百万円は、投資有価証券評価損であります。

3. 1株当たり情報

	(平成15年3月期) 〔自平成14年4月1日 至平成14年12月31日〕	(平成16年3月期) 〔自平成15年4月1日 至平成15年12月31日〕	(平成15年3月期) 〔自平成14年4月1日 至平成15年3月31日〕
1株当たり純資産額	981円23銭	1,050円45銭	1,059円94銭
1株当たり第3四半期(当期)純利益金額	44円57銭	56円94銭	137円86銭
潜在株式調整後1株当たり 第3四半期(当期)純利益金額	-円 -銭	-円 -銭	-円 -銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり第3四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり第3四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり第3四半期(当期)純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	(平成15年3月期) 〔自平成14年4月1日 至平成14年12月31日〕	(平成16年3月期) 〔自平成15年4月1日 至平成15年12月31日〕	(平成15年3月期) 〔自平成14年4月1日 至平成15年3月31日〕
1株当たり第3四半期(当期)純利益金額			
第3四半期(当期)純利益(百万円)	1,807	2,285	5,625
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-	36
(うち利益処分による役員賞与金)	-	(-)	(36)
普通株式に係る第3四半期(当期)純利益(百万円)	1,807	2,285	5,588
期中平均株式数(千株)	40,544	40,133	40,540
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり第3四半期(当期)純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権1種類(新株予約権の数2,040個、新株予約権の目的となる株式の数204,000株)	新株予約権1種類(新株予約権の数1,985個、新株予約権の目的となる株式の数198,500株)	新株予約権1種類(新株予約権の数2,040個、新株予約権の目的となる株式の数204,000株)

13. 有価証券に関する事項

(1) 子会社株式で時価のあるもの

前第3四半期(平成14年12月31日現在)

区 分	前 第 3 四 半 期 (平成14年12月31日現在)		
	第3四半期貸借対照表計上額 百万円	時 価 百万円	差 額 百万円
子 会 社 株 式	675	3,701	3,026
計	675	3,701	3,026

当第3四半期(平成15年12月31日現在)

区 分	当 第 3 四 半 期 (平成15年12月31日現在)		
	第3四半期貸借対照表計上額 百万円	時 価 百万円	差 額 百万円
子 会 社 株 式	675	8,757	8,082
計	675	8,757	8,082

前事業年度(平成15年3月31日現在)

区 分	前 事 業 年 度 末 (平成15年3月31日現在)		
	貸借対照表計上額 百万円	時 価 百万円	差 額 百万円
子 会 社 株 式	675	4,841	4,166
計	675	4,841	4,166

14. 部門別売上高

品 目	前 第 3 四 半 期 〔自平成14年4月1日〕 〔至平成14年12月31日〕		当 第 3 四 半 期 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成15年12月31日〕		前 事 業 年 度 〔自平成14年4月1日〕 〔至平成15年3月31日〕	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
パソコンソフト	1,606	16.2	1,109	10.7	2,408	11.8
家庭用ビデオゲームソフト	5,362	54.2	5,925	57.3	13,176	64.6
書 籍	1,340	13.5	1,257	12.2	2,213	10.9
C D 等	329	3.3	263	2.6	561	2.7
ロイヤリティ	809	8.2	1,115	10.8	1,456	7.1
そ の 他	452	4.6	663	6.4	596	2.9
合 計	9,901	100.0	10,335	100.0	20,412	100.0